

木村秀夫院長が国際学会で発表します

オーストラリアのブリスベンで2016年3月5日～6日に開催される「2016 Highlights of ASH in Asia-Pacific」において、木村秀夫院長が「多発性骨髄腫の治療について」ポスター発表を行います。

全国27の施設のデータをまとめたもので、従来は予後不良であった多発性骨髄腫に対して、最近導入された薬剤であるボルテゾミブとレナリドマイドを工夫して使用することにより、大変良好な治療成績が得られていることを発表します。



北福島医療センターでは、医師・看護師をはじめ、各分野のコ・メディカルスタッフが、学術向上のため、また一人ひとりの専門性を高めるため、毎年多くの学会・研究会・論文発表を行っています。

今後も、患者様へ質の高い医療を提供できますよう職員一同、日々研鑽してまいります。

～平成26年度の実績～

	医師	看護師	放射線技術科	リハビリテーション科	その他の職種
学会・研究会	23演題	1演題	11演題	15演題	2演題
論文発表	8演題	※	1演題	2演題	※
パネリスト	1題	※	3題	1題	1題
ポスターセッション	※	1題	※	6題	※
世話人・座長等	19学術集会等	※	17研究会他	※	15研修会等

CONTENTS



桃の花も満開になりました

木村秀夫院長が国際学会で発表	1
認定看護師の紹介	2
県北医療連携ネットワーク勉強会の報告	2
お知らせ	3
栄養科だより	3

認定看護師をご紹介します

北福島医療センター看護部では認定看護師が、それぞれの専門分野の学習で得た知識を患者様のために発揮しています。今回はその活動状況をご紹介します。

2014年に感染管理認定看護師の資格を取得しました。患者様、患者様のご家族、またお見舞いの方や職員など病院に関わる方々の感染予防や対策のために日々活動をしています。

院内で働く職員の誰もが、現場で感染対策の基本を同じく実施できるように、感染対策チーム（ICT）と協力をして活動をしています。感染管理というとなかなか難しいという印象がありますが、職員一人ひとりが感染対策に今より少しでも興味を持てるような動機付けのきっかけを作ることにより、患者様が安心して治療に専念できる安全な環境を提供することに繋がっていきたいと考えています。

地域の皆様、感染のことに関して何か気になることなどありましたら、お気軽にご相談下さい。



感染管理認定看護師（平成26年取得） 飯沼 範子



現在、皮膚・排泄ケア認定看護師として外来に所属し活動しています。一般的には、聞き慣れない言葉だと思いますが、床ずれの予防と治癒を目指したケア、皮膚トラブルを生じやすい方へのスキンケア、便や尿漏れに伴って生じる問題に対してケアを実践し、相談事にも対応をしています。今は、院内での活動が多く局所ケアについて病棟看護師と一緒に意見交換をしながら褥瘡の予防と治癒に努めています。

最近では、在宅の持ち込み褥瘡が多く、そのまま退院となるケースも少なくありません。退院した患者様は、訪問看護師や施設からその後の経過について連絡をいただき対応をアドバイスしていますが、今後は連動した活動ができるような体制作りを目指しています。

地域の皆様、スキンケアに関して困りごとがありましたら相談して下さい。

皮膚・排泄ケア認定看護師（平成21年取得） 大内 佳美

2015年に、がん化学療法看護認定看護師資格を取得し、現在は外来化学療法室で勤務しています。

がん化学療法看護認定看護師は、抗がん剤治療を受けられる患者さんとご家族が、日常生活や社会生活を送りながら抗がん剤治療が安全に行われ、副作用が少しでも軽く過ごせるようお手伝いすることを役割としています。

近年、がん化学療法の治療の場は入院から外来へとシフトされてきており、年々治療件数は増加しております。その中で、がん化学療法を安全・安楽に、そして確実に行うため、チーム医療として医師や外来看護師、薬剤師などと協働し、患者さんやご家族を共に支えていきたいと思っています。患者さんが自分らしい生活を送りながら、治療を受けることができるよう、個別性を活かした看護の提供を心がけています。

がん化学療法に関して、皆様の何かお手伝いできることがあればいつでもご相談下さい。



がん化学療法看護認定看護師（平成27年取得） 田代 佳子

認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者をいいます。

福島県北医療連携ネットワーク勉強会に参加しました

2月5日(金)19時より福島テルサにおいて、福島県北医療連携ネットワーク勉強会が開催され、当院のリハビリテーション科医師と回復期リハビリテーション病棟リハビリスタッフ、医療連携室スタッフが参加しました。

医療連携ネットワーク勉強会では、当院リハビリテーション科部長 大槻剛智医師が座長を務め、福島赤十字病院 院長 脳神経外科 渡部洋一先生が、

『脳卒中の地域医療連携ー福島県北地域における前方連携と後方連携を中心にー』

と題し、脳卒中の症状から診断・治療(救急治療から高度治療)について、また現在の福島県北地域の脳卒中ネットワーク(急性期⇔回復期⇔生活期)と連携体制(脳卒中地域連携パス)についてのお話がありました。



福島赤十字病院 院長 渡部洋一先生



県北地域医療連携システムについて

勉強会の前には、大腿骨頸部骨折と脳卒中の地域連携パスの合同情報交換会を開催され、各病院の現状や検討事項などが発表されました。

よりよい病診・病病連携のあり方を目指し、平成15年に発足した福島県北医療連携ネットワークは、現在24施設が参加し、定期的に勉強会や情報交換会を実施しています。当院のリハビリと医療連携スタッフは、今後も、回復期のリハビリを担う病院として、積極的に情報交換会や勉強会に参加し、患者様により良い医療を提供していきたいと考えています。

お知らせ

福島県のインフルエンザの報告患者数が注意報レベルに増加しております。健康管理に努め、うがい・手洗いをしっかりと、感染防止に努めましょう。

〈保原中央クリニック〉

耳鼻咽喉科では、4月より月曜日の診察が始まります。これまでの火・木・土曜日と合わせて週4回になりますので、どうぞご利用下さい。

●糖尿病教室

3月18日(金) 10:30~11:30

『春野菜を食べましょう~食物繊維のお話~』 ~管理栄養士のお話~

●ふれあいの日

3月8日(火) 11:30~12:15 体操編 『腰痛体操~筋力強化とストレッチ~』



栄養科だより

2月14日昼食時、入院中の男性の皆様に想いを込め 「バレンタインランチ」をお届けしました

♡はっぴーバレンタイン♡

ナポリタンとハートコロッケを組み合わせ、チョコレートムースをデザートに、ちょっぴりハイカラなバレンタインメニューを、お届けしました。

たまには栄養バランスの枠から外れて、息を抜いて楽しめる食事は大切ですね。



1階あゆみ病棟で2月はチョコレート菓子を作りました



リハビリ病棟に入院していらっしゃる患者様のリハビリをかねて、管理栄養士、病棟スタッフ、リハビリスタッフと一緒に2月はバレンタインのチョコレート菓子を作りました。

チョコレートのあまーい香りに誘われ、入院患者様が見学に来られました。ひと足早いバレンタインのチョコレートを美味しそうに試食されていました。



●経営理念●

笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

●ブランドメッセージ●

皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。